

# 祝辞 設立50周年に寄せて



一般財団法人川崎市保育会が設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昭和34年に貴会の前身となる川崎市私立保育園連盟を設立され、半世紀の長きに渡り、川崎市民の保育に関する相談事業や施設職員への研修事業、保育サービスの提供等を通じて、川崎の子どもたちや子育て家庭の福祉向上に多大なる貢献をしてこられました近藤理事長をはじめ、加盟園の皆様方の御尽力に深く敬意を表します。

また、子育てと社会参加の両立を目指す若い世代が増加していること等により、保育ニーズは依然として大幅に伸び続けておりますが、貴会におかれましては、「小規模保育事業」や「おなかま保育室」の運営をはじめ、この50周年の節目には、川崎市保育会直営で初めての認可保育所「そらいろ今井西保育園」が開園されましたが、質の高い保育サービスの提供とともに、待機児童対策へも御協力いただけることとなり、重ねて感謝申し上げます。

さて、川崎市では、新たな時代の始まりである令和元年5月に、人口が152万6千人を超え、日本で6番目に人口の多い都市となりました。就学前児童数は、市全体ではわずかに減少していますが、一部の地域では新たな大規模集合住宅の建設に伴う転入増等により増加していることや、保育所等への入所申請率の上昇が今後も見込まれることから、引き続き、保育所の整備等を進める必要があります。また、本年10月からは幼児教育・保育等の無償化の取組がスタートすることとなり、市民の関心の高まりとともに保育の質の維持・向上が今まで以上に求められています。

こうした中、本市では、年々厳しさを増している保育士確保対策として様々な処遇改善等加算を設けているほか、保育士等宿舍借上げ支援事業やICT化推進事業など、保育士等の離職防止や事務の負担軽減を図ることを目的とした制度の創設・拡充にも取り組んでいるところです。

今後も、多様な手法による保育受入枠の確保、子育て世帯へのきめ細やかな相談支援、保育人材の確保及び育成を軸に、待機児童の解消に向けて総合的に取り組み、安心して子育てできる環境のもと、「子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり」を推進してまいりますので、川崎市保育会及び加盟園の皆様方による質の高い保育を通じて、これからの日本を担う子どもたちの心と体の健やかな成長にお力添えをお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人川崎市保育会及び加盟園の皆様方のますますの御発展を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。一般財団法人川崎市保育会が設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

川崎市市長

福田紀彦